令和４年度　学 校 自 己 評 価 重 点 目 標 シ ー ト　（川口市立高等学校　全日制）

（Ａ４判横）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る　しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	名
事務局（教職員）	名

学　校　自　己　評　価							学　校　関　係　者　評　価
領　域	年　度　目　標			年　度　評　価　（令和５年１月　日　現在）			※実施日　平成　年　月　日
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
組織運営	○川口市のリーディング校として、国公立・難関私立大学進学を目指す文武両道の進学校づくりの推進が求められている。 ○ＳＳＨ指定を契機に、ＳＳＨを学校づくりの中核事業として推進していくことが必要である。	**「進学校・ＳＳＨ指定校として前進する」** ①理数科教育のさらなる充実、スポーツ科学コースの学力向上と特進クラスの特色化を図る。 ②政策アドバイザーと管理職が連動して各主任層との目標の連鎖を進める。	①理数科・特進クラス・スポーツ科学コースの特色化 ○ＳＳＨを軸にした理数科教育の一層の充実 ○土曜講習の工夫・改善 ○部活動の活性化 ②アドバイザー会議の定例化、管理職と各主任との定期的な情報交換の実施				
教育課程	○新教育課程の円滑な実施とＳＳＨ指定に合わせて教育課程の部分的な改訂を進める必要がある。 ○１年次生へのＢＹＯＤ導入と軌を一にして、ＩＣＴを活用した授業等を各教科や年次で研究・推進していくことが課題である。	**「ＳＳＨ事業を展開しつつ国公立大学進学に対応する教育課程を実施する」** ③国公立大現役合格50名以上を目指す。 ④観点別評価を学力向上に活かす工夫を行う。 ⑤部活動加入率90％以上を目標とする。	③授業時数を確保し、授業改善に全教科で取り組む。また、３年間を見通した系統的な進路指導を行う。 ④各教科で観点別評価を実施し、その検証を行う。 ⑤学習と部活動の両立のため、家庭学習を奨励し、早朝及び放課後自習環境を整備する。				
開かれた学校づくり	○川口市内のみならず、全県的に本校の認知度を高めることが課題である。このため、ＳＳＨの事業、理数科、スポーツ科学コース、特進クラスなどにおける本校の魅力や特色を継続的にＰＲしていく必要がある。	**「地域とともにある学校づくりを進める一方、中学校や塾に積極的に広報する」** ⑥高校入試における志願倍率の維持・向上を目指す。 ⑦近隣の小中学校との情報交換と連携を図る。	⑥○学校説明会・見学会等の充実改善 ○学校案内・ポスター・チラシ等の早期作成と配布 ○ホームページの逐次更新 ⑦○中学校教員対象の進路指導研修会の実施 ○小中学生向け体験型プログラムの実施				
教職員の資質向上	○政策アドバイザーをはじめとする川口市独自の人材配置を研修等に活用していく。特に、今年度からの新採用配置に係る初任者研修を充実させる必要がある。 ○最新の施設設備や立地条件などから大学や研究機関の協力を得られやすい。	**「授業第一主義を学校全体で徹底する」** ⑧授業における指導方法の工夫・改善を推進する。 ⑨探究的な学習の指導方法の研究を進める。 ⑩政策アドバイザー、ＡＬ支援員を活用し、ＡＬ等各種研修を充実させる。	⑧⑨○授業研究週間（年２回）での互見授業と教科別及び教科横断的研修の実施 ○校外研修への参加 ○ＳＳＨ研究授業の実施 ○大学や研究機関との連携事業の推進 ⑩政策アドバイザーによる初任者研修の校内での開放				
施設・設備等の管理	○不審者・防犯対策、自転車事故の防止等、本校独自の安全面への配慮を行う。 ○附属中・定時制との施設共用に一層工夫していく。 ○ＩＣＴをはじめとする最新の施設設備を教育活動に効果的に活用することが求められる。	**「最新の施設設備を効果的に活用し、学校生活及び登下校時の安全に配慮する」** ⑪学校内外での生徒事故防止に取り組む。 ⑫施設の共用・有効活用 ⑬ＢＹＯＤ導入とＧＩＧＡスクールによる新たなＩＣＴ環境の整備を進める。	⑪○避難訓練等の防災教育と不審者・防犯対策の充実 ○自転車事故等防止のための登校指導の継続的実施 ⑫附属中・定時制との定期的な連絡調整会議の実施 ⑬生徒一人一端末のネットワーク環境の整備・検証及び教員側ＩＣＴ環境の整備				